

学校教育だより

子供たちの
のために



習志野市教育委員会発行

<http://www.city.narashino.lg.jp/kosodate/kyoiku/gakkyodayori.html> 令和元年9月25日発行 NO.109

習志野市鷺沼 2-1-1 電話 047-451-1151

校内 で支える

安全安心な学校環境づくり



わくわく学びランド



みんなで

支える

学校

を

支える

地域ボランティア

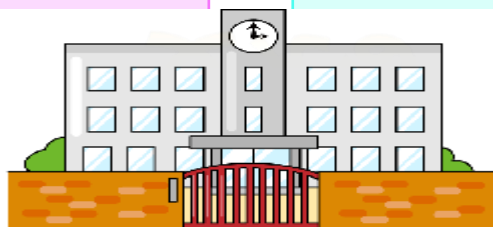


地域

から支える



学校事務の効率化・平準化



子供たちの学習の場である学校。その場がより良いものとなるように、多くの職員が関わっています。また、保護者や地域の方々にも、様々な面でお力添えをいただいています。今号ではその一部を紹介します。

第109号 目次

- ◇《校内で支える》・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ◇《地域から支える》・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ◇《わくわく学びランド》・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ◇《地域と音楽で交流する》・・・・・・・・・・・・ 5
- ◇《習志野高校》《教育長コラム》・・・・・・・・ 6

学級担任や教科指導の教員が、児童生徒の学習・生活を支えているのは勿論です。その他にも様々な立場から、児童生徒を直接支えてくださる方々、教員を支えてくださる方々がいらっしゃいます。児童生徒の確かな学びのために活躍してくださっています。

学習サポーター



主に低学年の算数や国語のチーム・ティーチングを担当しています。授業中は机間指導をしながら、個別に支援を行い学力の向上を目指しています。

(袖ヶ浦西小 大和地佳織先生)



それぞれの課題に応じた丁寧な指導

技労士



校舎内外の安全について常に目を配ってくださっています。樹木の剪定、グラウンド、校舎内の営繕など、施設面で児童生徒が安心して過ごすことができるのは、技労士さんたちの活躍があってこそです。

向山小 岡本強さん



校内 で支える



事務職員



市立小中学校の事務職員は、学校規模により1名または2名が配置されています。「学校事務の共同実施」という組織のもと、学校の業務改善・教員が子供と向き合う時間の確保に努め、事務の効率化・平準化を推進しています。

習志野市の子供たちのために！

「チーム習志野」の一員として資質向上を目指します。(五中 菅原 祐子さん)



「学校事務の共同実施」の皆さん

スクール カウンセラー



児童生徒が安全に安心して登校できるためには、心の健康がとても大切です。各校の児童生徒や保護者の抱える様々な悩みを受け止め、よりよい方向へ導けるような存在として、担う役割は大きいです。専門的な視点から向き合い、児童生徒やその保護者を支えてくださっています。

第六中学校 矢野一男さん



学校の職員だけでなく、保護者や地域の方々の支えがあってこそその安心・安全な学校があります。また、豊かな心を育むための環境教育や読み聞かせなど、様々な形で多くの人とふれあいながら、児童生徒は育っています。

モニタ ボランティア

屋敷小には4か所の門に防犯カメラが設置されていて、その映像を見守ってくださっている、「モニタボランティア」さん達がいらっしやいます。毎日交代で、子供たちの安全・安心のために心強いサポーターとして活躍してくださっています。

(屋敷小 加藤努教頭より)

屋敷小学校

モニタボランティア



地域
から支える



ソーメン流し 1日キャンプ

8月4日(日)、郷の会の方々によりソーメン流し1日キャンプが行われました。50名以上の児童と保護者が参加しました。猛暑の中、冷たい流しソーメンやとれたての野菜などをみんなでおぼる子供たちの笑顔が眩しく感じられました。十分に自然を満喫した一日となりました。

(実籾小 横平佳子教頭より)



実籾小学校 郷の会田んぼでの活動の様子

朝のあいさつ運動



週に一度、東習志野三丁目町会の方々に校門前に立ち、登校する児童とあいさつを交わして下さっています。

「学校支援ボランティアとしての活動を始めてから、20年ほどになります。朝、子供たちの笑顔に会えることは、我々が逆に元気をもらっているようで、これからも続けていきたいです。」(三丁目町会 澁川武夫さん)



東習志野小学校 登校時の様子

花いっぱい花壇づくり

鷺沼小3年生の子供たちが、鷺沼連合町会や市職員の方々と一緒に、暑い中、一生懸命に歩道への花植え作業を行いました。自分たちの街並みを自分たちの手で良くしていこうとする気持ちを高めることができました。

(鷺沼小 和田正浩教頭より)



鷺沼小学校 歩道での活動の様子

わくわく学びランド ～元校長先生たちも支えます～



総合教育センターでは、夏休みを中心に小中学生を対象とする「わくわく学びランド」を開催しています。その一部を紹介します。



全17回 予定表				
5月21日	(火)	映像教室	地球の日(映像視聴)	
6月18日	(火)	講演会	生き物の日(甲殻類)	
7月23日	(火)	科学教室	科学実験教室	
7月29日	(月)		高機能繊維実験教室	
8月8日	(木)		おもしろ科学実験	
8月19日	(月)	学習教室	総合教育センター	
8月20日	(火)		袖ヶ浦公民館	
8月22日	(木)		サンロード	
8月27日	(火)		総合教育センター	
8月28日	(水)		袖ヶ浦公民館	
8月29日	(木)		サンロード	
8月30日	(金)		総合教育センター	
9月17日	(火)		講演会	天文の日
10月15日	(火)		映像教室	生き物の日
11月2日	(土)	映像教室	宇宙の日	
12月26日	(木)	学習教室	書き初め(総セ)	
1月28日	(火)	映像教室	生き物の日	
3月予定		星の教室	星空の日	

おもしろ科学実験

東邦大学理学部の学生に、いくつかのコーナーを用意していただきました。参加した子供たちは、身近な材料を使っておもちゃを作ったり、不思議な現象を見たりするなど、科学のおもしろさを体感することができました。



学習教室

毎回、退職校長会の方々に御協力いただき、2時間ほど小中学生の学習を支援していただきました。

今年度は総合教育センターだけでなく、津田沼サンロードや袖ヶ浦公民館にも会場を設けたことで、より多くの学校から子供たちが参加しました。最初は緊張気味だった子供たちも、各自の学習課題についてのアドバイスなどを受けて、にこにこ帰っていく表情から、わかる喜びを感じることができました。



わくわく学びランド

って何？

- ・児童生徒の学ぶ意欲に応じるための場として、様々な学習体験ができる事業で、総合教育センターが行っています。
- ・高校・大学の先生や学生、また企業の方にも協力をいただき、講演会や教室等を開きます。
- ・12月の学習教室は、書き初めの練習を行いません。

(既に申込みは終了)

※映像教室・星の教室は申込み不要です。

- ・案内は学校を通じ全校児童に配付している手紙やHPで御確認ください。

地域と音楽で 交流する

「音楽のまち習志野」では、毎年夏から秋にかけて、各地区の公民館等が主催する音楽会に地域の学校も参加し、演奏を披露しています。



7月15日(月)

みはなサマーコンサート

みはなサマーコンサートは、実花町会・東習志野8丁目町会主催で、実花小学校体育館を会場にして、毎年行なわれています。プレーメン実花こども園、実花小学校、東習志野小学校、第四中学校、習志野高等学校のほか、習志野ウインド・オーケストラも参加して、楽しい演奏を披露しました。



9月7日(土)

フレンドシップコンサート

フレンドシップコンサートは、袖ヶ浦公民館主催で、今年は袖ヶ浦東小学校体育館を会場にして行なわれました。まだ残暑の厳しい中でしたが、袖ヶ浦こども園、袖ヶ浦西小学校、袖ヶ浦東小学校、鷺沼小学校、第三中学校の子供たちが、練習を重ねた成果を披露しました。最後は小学生と中学生の合同演奏でフィナーレとなりました。



9月14日(土)

バラの街♪音楽会

バラの街♪音楽会は、谷津公民館主催で、今年も向山小学校体育館にて開催されました。谷津幼稚園、向山幼稚園、谷津小学校、向山小学校、谷津南小学校、第一中学校が参加しました。リズムカルな演奏だけでなく、子供たちの楽しい演出も加えるなど、楽しませる工夫も見られました。最後は、第一中学校の伴奏で、来場者全員で『習志野市歌』と『ふるさと』を歌い、会場の空気が一体となった美しい声を響かせました。



あしたのハーモニーが響くまち 習志野市

習志野高校 キャリア教育 ～進路に向けた意識を高めるために～



職業体験 ガイダンス



7月16日（火）、1年生を対象に職業体験ガイダンスが行われました。これは職業体験を通して、それぞれの職業に対する認識を深め、進路に向けた意識を高めることを目的に、22の分野に分かれて、職業について学ぶものです。

生徒は自分の希望する分野で、専門の講師の方から話を聞いたり、実際に体験したりしながら、職業に対する理解を深めていました。



～好きです ふるさと習志野～ 教育長コラム

「1年の計は9月にあり？」まだ2学期が始まったばかり、そして暑さの残る時期ではありますが、次年度に向け世の中は大きく動いています。野球などのスポーツであれば今シーズンの終盤戦となり、すぐにシーズンオフとなります。しかし、次のシーズンに向けての準備や戦いは、既に始まっています。この時期をどう過ごすかが、チームリーダーの腕の見せ所であり、この時期にこそ、計画的な取り組みが求められます。

学校教育に視点を置き換えてみるとどうでしょうか。全国学力・学習状況調査の結果を受け、その課題を分析し、学力向上の具体的な手立てを考え実践する時期でもあります。また、スポーツや文化活動においても、上級生が引退し、新チームとしての活動が本格化します。働き方改革が強く求められている学校においては、次年度の行事策定や教育課程の編成がスタートしています。教育行政においては、次年度の予算編成の真っ只中にあります。どの取り組みにおいても改善に向けアイデアを出すことと、より良くしようとするチャレンジ精神が必要です。「昨年度と同じ」は説明しやすく、ある意味では楽かも知れませんが、これだけ課題が山積している学校教育においては、何も変えない方が責任を放棄しているとも言えます。学校教育のプロとして、決断を迫られる時期でもあります。（教育長 小熊 隆）